

教科〔分野〕	技術・家庭科〔技術分野〕	履修学年	第1学年	指導時間	0単位時間	担当者	長澤 靖
使用教科書	新しい技術・家庭技術分野 (東京書籍)	補助教材	学習ノート 材料と加工(広学図書) 学習ノート 情報(広学図書)				
目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。						
評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解			
趣旨	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について関心を持ち、技術の在り方や活用の仕方等に関する課題の解決のために、主体的に技術を評価し活用しようとする。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術の在り方や活用の仕方等について課題を見付けるとともに、その解決のために工夫し創造して、技術を評価し活用している。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術を適切に活用するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。	材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する技術について基礎的・基本的な知識を身に付け、技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。			
評価資料	○授業観察 ○学習達成状況 ○ワークシート	○ノート活用状況 ○学習記録 ○ワークシート	○作品 ○作業	○定期テスト ○小テスト ○ワークシート			
言語活動を取り入れる場面等	○学習発表 ○試験問題						
指導計画							
月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準			
4	ガイダンス	1	3年間の学習内容を知ること。				
5	A 材料と加工に関する技術 (1) 生活や産業の中で利用されている技術について。	1	ア 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること。	生活や技術への関心・意欲・態度	・技術が人間の生活を向上させ、我が国における産業の継承と発展に影響を与えていることに気づき、技術が果たしている役割について関心を示している ・技術が環境問題の原因と解決に深くかかわっていることに気づき、技術の進展と環境との関係について関心を示している。		
		2	イ 技術の進展と環境との関係について考えること。				
6	(2) 材料と加工法について。 (3) 立体の表わし方について。	2	ア 材料の特徴と利用方法を知ること。	生活や技術への関心・意欲・態度	・材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。		
		2	イ 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できること。	生活を工夫創造する能力	・材料と加工に関する技術の課題を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに、適切な解決策を見いだしている。		
7	(3) 材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作について。 期末テスト	2	ア 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えること。	生活や技術への関心・意欲・態度	・省資源や使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしている。 ・新しい発想を生み出し活用しようとしている。		
		4		生活を工夫創造する能力	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから材料、使いやすさ及び丈夫さなどを比較・検討した上で、製作品やその構成部品の適切な形状と寸法などを決定している。		
9		4					
10		4	イ 構想の表示方法を知り、製作図をかくことができること。				
11							

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準
12		4	ウ 部品加工，組立て及び仕上げができること。	生活や技術についての知識・理解 ・製作図を基にして，材料取り，部品加工，組立て・接合，仕上げができる。 ・製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。 ・等角図，キャビネット図及び第三角法などの見方やかき方についての知識を身に付けている。
		4	言語活動 材料と加工方法について必要な用語を使い自分の言葉で説明できる。 工具を安全に使うことについて理解し注意点など自分の言葉で説明できる。	
1	D 情報に関する技術 (1) 情報通信ネットワークと情報モラルについて。	2	ア コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。	生活や技術への関心・意欲・態度 ・情報社会において適正に活動しようとしている。 ・情報に関する技術の課題を進んで見付け，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに，適切な解決策を示そうとしている。
2		1	イ 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ること。	生活を工夫創造する能力 ・情報に関する技術の利用場面に応じて，適正に活動している。
3		2	ウ 著作権や発信した情報に対する責任を知り，情報モラルについて考えること。	・情報に関する技術の課題を明確にし，社会的，環境的及び経済的側面などから比較・検討するとともに，適切な解決策を見出している。
		2	エ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考えること。	生活や技術についての知識・理解 ・インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と，安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。 ・著作権や，情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と，発信者としての責任についての知識を身に付けている。 ・コンピュータを構成する主要な装置と，基本的な情報処理のコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。 ・情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。
5	学習の進め方 (学習方法，学習形態等)	(1)情報に関する技術 ○情報通信ネットワークと情報モラル ・電気室で班体形で情報ネットワークにおける基本的な情報利用について学習する。 ・電気室で班体形で著作権や発信した情報に対する責任を知り，情報モラルについて学習する。 ・コンピュータ室で一人一台使用し基本的な情報処理を行う。 ○デジタル作品の設計と制作 ・コンピュータ室で一人一台使用しデジタル作品を制作する。 (2)材料と加工に関する技術 ○生活や産業での技術や材料と加工法について		
	学習上の留意点 受講上の注意	○授業道具（教科書，ワークノートなど）を必ず持参する ○実習時は作業がしやすい服装に着替える ○提出物は100%出し切る ○実習では，工具や機械の使い方をよく聞き，適切に使用する ○怪我や火傷に気をつける ○指示のない限り，勝手に機械を操作しないこと		
6	先生からのアドバイス			